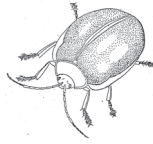


たんぽう



上郡町でチビアシナガサシガメ (Hemiptera: Reduviidae) を採集

大貝秀雄

チビアシナガサシガメ *Ploiaria zhengi* Cai et Yiliyar, 2002 はサシガメ科 Reduviidae に属し、別族のカモドキサシガメ類と外見が似た微小な肉食性のカメムシで、国内では栃木県(石川・宮本, 2012)、愛知県(石川・宮本, 2012, 大野・石川, 2021)、兵庫県(長島, 2014, 菊田・長島, 2016)、大分県(石川・宮本, 2012)と沖縄県(名嘉・石川, 2020)から発見されているにすぎない稀な種である。

筆者は2023年7月7日に兵庫県上郡町野桑の白旗山登山路において、本種1♂2♀を得ているので、採集地環境の記述とあわせて報告する(図1)。

採集地は平坦な登山コース沿いであって、比較的明るく乾燥した斜面に生えた生木の根元付近の土が崩落して根が大きく露出しており、かつ根際の幹が腐朽してウロ



図1: チビアシナガサシガメ♂。

ロのようになった箇所であった(図2)。チビアシナガサシガメは、このウロを中心に殺虫用エアゾールを噴霧して落ちてきたものであり、その生活様式などは残念ながら観察することができなかった。なお、同時に確認できた昆虫は少数のケシデオキノコムシ類のみであった。



図2: 生息環境。

名嘉ら(2020)は本種が日中は樹洞などにひそみ休止して夜間に活動する可能性を示唆しており、本報の例も生木のウロに隠れていた個体であったのかもしれない。

謝辞

引用文献を御教示いただいた東京農業大学の石川忠教授に深く感謝申しあげる。

○引用文献

- 石川忠・宮本正一, 2012. サシガメ科. 石川忠ら編. 日本原色カメムシ図鑑第3巻. 231-288. 全国農村教育協会, 東京.
- 菊田幸雄・長島聖大, 2016. チビアシナガサシガメの捕食観察例. *Rostria*, (59): 61-62.
- 長島聖大, 2014. チビアシナガサシガメの新産地. *Rostria*, (56): 27-28.
- 名嘉猛留・石川忠, 2020. チビアシナガサシガメ *Ploiaria zhengi* の琉球列島からの初記録. *Rostria*, (64): 74-75.
- 大野友豪・石川忠, 2021. チビアシナガサシガメの愛知県における採集記録と採集状況. *住香蝶*, 73(288): 126-127.

(Hideo OGAI 兵庫県上郡町)

兵庫県丹波篠山市でムネアカハラビロカマキリを確認

宇野宏樹

ムネアカハラビロカマキリ *Hierodula chinensis* は2010年に国内で初めて記録された外来種のカマキリの1種である(伊與田ほか, 2022; Yamasaki et al., 2022). 筆者は本種を記録が多くないと思われる兵庫県丹波篠山市で確認したので報告しておきたい。

1ex. (図1・図2), 兵庫県丹波篠山市草野付近. 2023年10月27日. 筆者確認.

道に落ちていた個体を確認した。本種が兵庫県に定着しているのかは定かではないが、今後の動向に注意が必要だと思われる。

○参考文献

- 愛知県, 2017. 平成29年度愛知県外来種調査結果の概要. https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/195505_473673_misc.pdf (2023年10月閲覧)。



図1. 丹波篠山市で確認されたムネアカハラビロカマキリ.



図2. 同一個体の胸部などの写真

伊與田翔太・根本宗一郎・高坂晴香・幸村帆夏・佐橋拓弥・岸村晋作・犬飼瑠那・杉浦宏亮・長坂優斗・白石友也・立脇隆文, 2022. 愛知県岡崎市におけるムネアカハラビロカマキリとハラビロカマキリの分布状況. 豊橋市自然史博物館研報. 32: 1-7.

Yamasaki K., Schütte K., Nawa T., 2022. New record of Chinese Reddish Mantis, *Hierodula chinensis* Werner, 1929 (Mantodea, Mantidae) from Japan. Check List 18(1): 147-150. <https://doi.org/10.15560/18.1.147>

(Hiroki UNO 大阪府豊中市)

京都府京丹後市におけるホソバセセリの2020年の記録

宇野宏樹

ホソバセセリ *Isoetes lamprospilus* は国内では本州・四国・九州・隠岐・対馬・甕島列島に分布することが確認されているセセリチョウの1種である(中峯, 2006; 日本チョウ類保全協会, 2012; 兵庫県, 2023). 今井(2007)によると, 本種は京都北郊西賀茂地域で1930年代から1960年代にかけて観察されているが, 2006年から2007年にかけては観察されていない. また, 京都府京丹後市における本種の記録は2001年に弥栄町丹後あじわいの郷で採集されたもの(中嶋ほか, 2006)があるが, この報告では2000年から2005年までの調



図. 京都府京丹後市で2020年に得られたホソバセセリ

査にもかかわらず, 本種が確認されたのは2001年のみのようである. 筆者は京都府京丹後市で2020年に本種を得ているので, 情報の蓄積のため, 報告しておきたい. なお本種は, 隣接する兵庫県では, 兵庫県版レッドリスト2022においてCランクに指定されている.

2exs. (図), 京都府京丹後市久美浜町湊宮付近. 25. VI. 2020 - 26. VI. 2020. 筆者採集.

丹後砂丘の近くの植物が生い茂ったエリアにいた個体を採集した. これらの個体の標本は筆者が保管している. 京都府丹後砂丘が, 様々な生物の生息に適した環境であり続けることを祈りたい.

○参考文献

- 今井健介, 2007. 京都市北郊における1930年代以降の里山の衰退とチョウ類生息状況の変化. 第21回(平成18年度) TaKaRa ハーモニストファンダ研究助成報告: 17-31.
- 京都大学蝶類研究会, 2014. 2013年日本産蝶類情報. SPINDA, 29: 123 - 163.
- 中嶋智子・水谷文恵・白岩秀昭・小松正幹・田辺隆志, 2006. 農業公園「丹後あじわいの郷」園内の昆虫リスト(2000年から2005年). 京都府保環研年報, 51: 62-66.
- 中峯浩司, 2006. 鹿児島県甕島列島2005年の昆虫類(第1報). 鹿児島県立博物館研究報告, 25: 38-55.
- 日本チョウ類保全協会(編), 2012. フィールドガイド日本のチョウ. 327pp. 株式会社誠文堂新光社. 東京.
- 兵庫県, 2023. 兵庫県版レッドリスト2022. ホソバセセリ <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/application/files/6216/8075/5568/213.pdf> (2023年9月閲覧)
- 広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶. 331pp. 自費出版.

(Hiroki UNO 大阪府豊中市)